

～八ヶ岳歩こう会創立20周年記念～  
甲州街道ウオーク

コースマップ

第5回・与瀬宿～上野原宿  
2018年9月26日(水)

- ・距離 約14km
- ・解散 牛倉神社 14時30分頃
- ・担当者 木地勝男(090-1550-7451)  
小塚敏夫(090-2175-0426)  
村松光比古(090-6526-6737)  
小林光修(090-4676-2067)

- ・次回開催 第6回 上野原宿～鳥沢宿
- ・2018年10月24日(水)
- ・距離 約15km
- ・集合 上野原駅(午前9時30分)

【与瀬宿】本陣1軒 旅籠6軒 問屋場1軒 総家数約110軒 人口約560人

相模湖駅前の国道20号線周辺がかつての与瀬宿である。与瀬は江戸時代一時期を除き、幕府の直轄領であった。与瀬の宿場は、3段の河岸段丘の最上位にあった。これは甲州街道が小仏峠などの高いところを通過するため、川止めの心配のない場所を選んだためである。本陣前、石の門柱には「旧本陣 坂本家」と刻まれている。現在は14代当主、坂本成氏宅となっている。

【与瀬神社】祭神は日本武尊。宿場に流行した疫病から宿人たちを守った鎮守の神で、甲州街道を旅する人達が必要参拝したといわれる。

【吉野宿】本陣1軒 脇本陣1軒 旅籠3軒 総家数約100軒 人口約530人

吉野家 江戸時代の名主宅。明治29年の大火で焼失してしまっただが、御蔵だけは残っていますが、江戸時代に復元模写や当時の生活用具など展示してある。かつての旅館「ふじや」では明治10年頃の街並みの復元模型や当時の生活用具など展示してある。

【小猿橋跡】昔は、現在の吉野橋より更に下へと急な坂道を下り沢井川に架かっていた、名前の通り猿橋の小型版で橋桁が建てられなため、両岸から板を重ねて張り出し、真ん中で合わせるという構造だった。かつて橋のあったところは現在相模湖の水中である。

【諏訪の番所跡】宝永4年(1707)、諏訪神社東より坂上に移転。番所定員9人、獄舎取締1人の番所であった。男は上・下とも手形不要であったが、女は江戸へ入るときに女手形を必要とした(江戸より甲州への下りには不要)。

